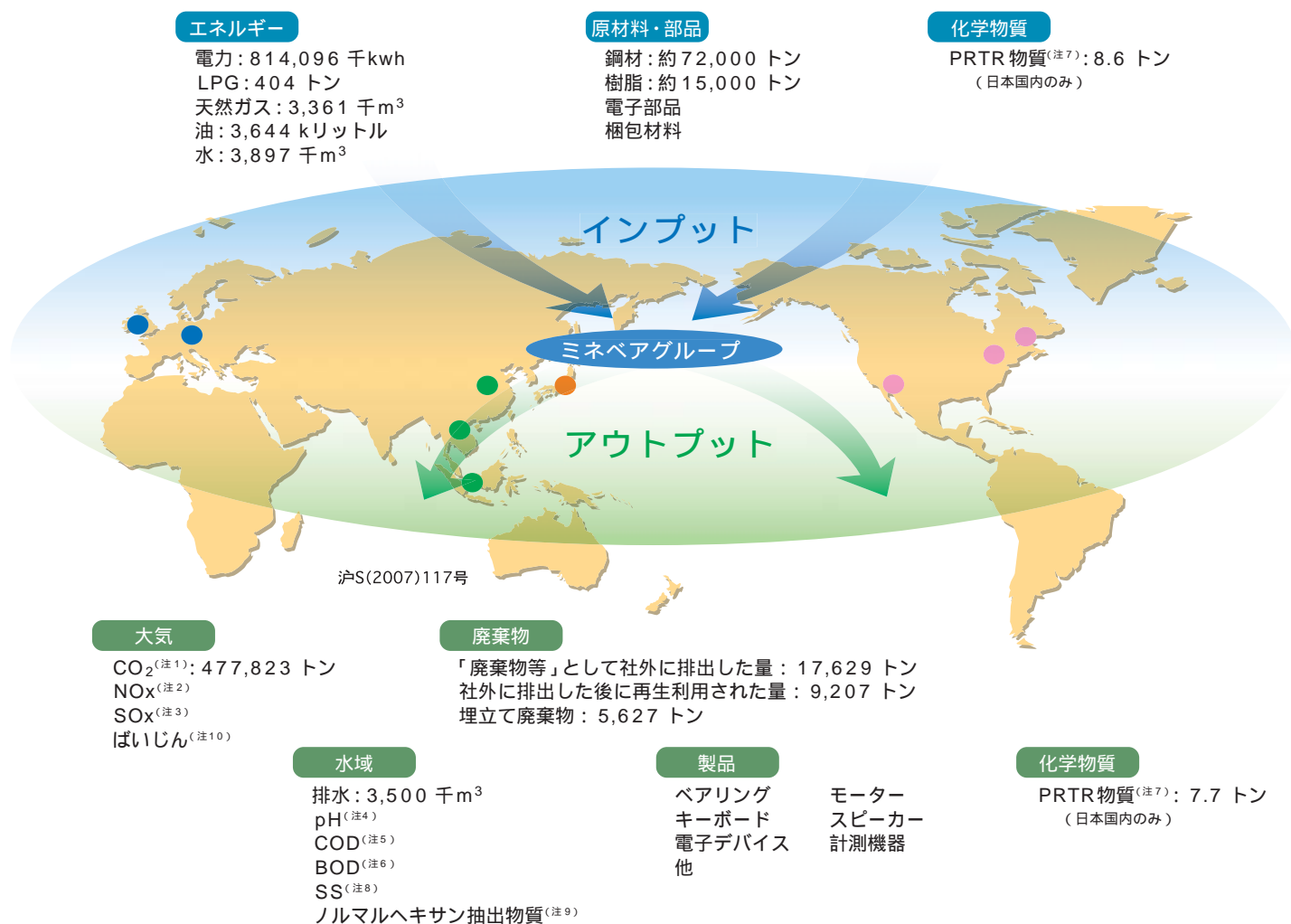


ミネベアグループは、世界9カ国に28カ所の製造拠点、13カ国に43カ所の販売拠点があり、事業活動も広範囲にわたっています。2007年3月期のミネベアグループ全製造拠点における事業活動のインプット・アウトプットによる環境負荷は、以下のようになります。

ミネベアの環境負荷とマテリアルバランス^(注11)



用語説明

注1 CO₂: 二酸化炭素

注2 NO_x: 窒素酸化物

注3 SO_x: 硫黄酸化物

注1~注3 は、石炭、石油、ガソリンなどを燃やすことにより発生する。火力発電、工場ボイラー、自動車/トラックの排ガスなどが主な発生源。

注4 pH: ペーハー

酸性かアルカリ性を示す尺度。pH7が中性。7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強い。

注5 COD: 化学的酸素要求量

水中の有機物(汚れ)を酸化剤によって酸化するのに消費される酸素量。BOD測定と比べ短時間に測定できるが、信頼性は劣る。CODは一般的に海、湖沼への排水監視に用いられる。

注6 BOD: 生物学的酸素要求量

水中の有機物(汚れ)を細菌が食べて分解するときに消費される酸素量。BODが大きいほど汚れが多い。測定に5日間を要す。BODは一般的に河川への排水監視に用いられる。

注7 PRTR物質

PRTR法(化学物質管理促進法/日本国内法)により排出量・移動量を把握し、届け出を定められた化学物質。海外については取りまとめ中。

注8 SS: 懸濁物質

水中に浮遊している物質の量。数値が大きいほど水質汚濁が著しい。

注9 ノルマルヘキサン抽出物質

水に含まれる揮発しにくい油や洗剤などを、ノルマルヘキサンという薬品で抽出した物質。この報告書では鉱油量を表す。

注10 ばいじん

燃焼、加熱及び化学反応などにより発生する排出ガス中に含まれる粒子状物質。

注11 マテリアルバランス

物質のインプット/アウトプット収支。

エネルギーの年間使用量 & CO₂ 排出量(2007年3月期)

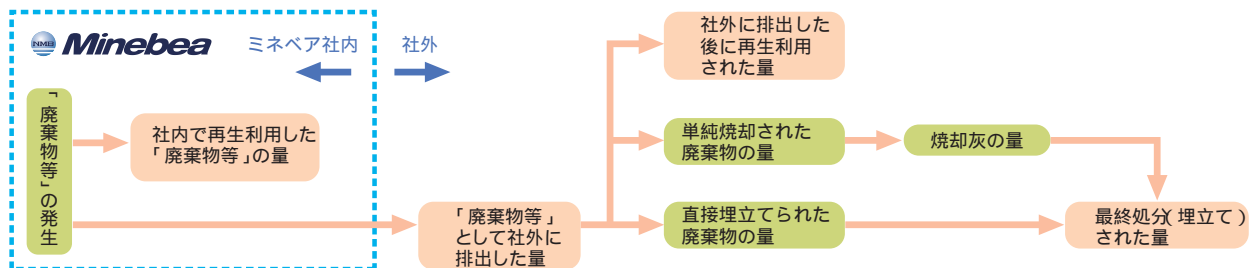
エネルギー	単位	日本	タイ	中国	シンガポール	英国	ドイツ	米国	合計
電気	千kwh	45,156	552,672	96,740	63,640	15,762	2,837	37,289	814,096
灯油	kリットル	46	0	166	0	0	0	1	213
A重油	kリットル	951	0	0	0	0	0	0	951
軽油	kリットル	5	1,054	143	258	0	0	268	1,728
ガソリン	kリットル	14	350	320	53	0	12	3	752
LPG	トン	128	35	187	13	0	0	41	404
天然ガス	千m ³	840	1,609	0	0	191	98	623	3,361
水	千m ³	207	2,672	315	228	396	3	76	3,897
CO ₂ 排出量	トン	21,960	304,414	84,224	34,314	7,764	1,520	23,627	477,823

注) 電力のCO₂排出量を算出する際の係数は、日本国内については環境省発行の「事業者からの温室効果ガス排出量算定方ガイドライン」を、海外については「GHGプロトコル」で使用される係数を参考にしました。
2006年3月期に比べ電力は約0.1%増加しましたが、使用燃料の切り替えなどによりCO₂排出量は約7.0%削減となりました。

廃棄物

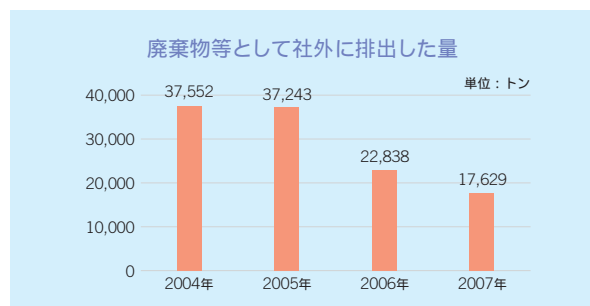
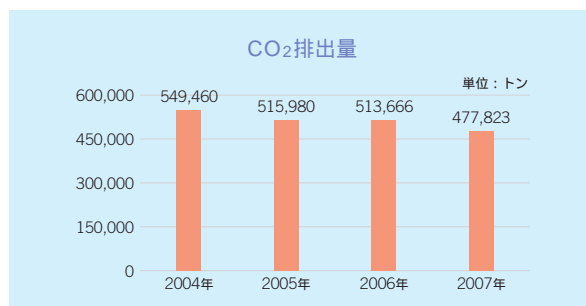
区分	日本	タイ	中国	シンガポール	英国	ドイツ	米国	合計
社内で再生利用した「廃棄物等」 ^(注1) の量	117	233	3,491	313	6	0	22	4,182
「廃棄物等」として社外に排出した量	924	4,727	3,902	5,417	401	35	2,223	17,629
社外に排出した後に再生利用された量	307	1,114	2,155	3,848	163	17	1,603	9,207
最終処分(埋立て)された量	128	3,613	319	708	238	1	620	5,627

注) 社内で再生利用した「廃棄物等」の量は2007年3月期に集計範囲の見直しを行いました。また、最終処分(埋立て)された量については一部に推計値の地域があります。



ミネベアグループ年度別

CO₂ 排出量 & 廃棄物等として社外に排出した量の推移グラフ



用語説明

注1 廃棄物等
リサイクル物も含み、事業活動から発生したすべての不要物(廃棄物)但し、有価物は除く。

PRTR 物質の取扱・移動量(日本国内の状況 / 行政への届出物質)

(単位:トン)

物質番号	物質名	取扱量	排出量			移動量	
			大気	水域	埋立て	廃棄物量	事業所
144	HCFC-225	7.3	6.9	0	0	0.4	軽井沢
232	ニッケル化合物	1.3	0	0	0	0.4	藤沢

水質、大気の汚染防止

◎水質監視状況

日本

軽井沢工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.8 ~ 8.6	6.0 ~ 8.0	7.7	7.6
COD	40	30	5.8	3.6
BOD	40	30	5.2	2.1
SS(注8)	60	55	21.0	11.0
ノルマルヘキサン抽出物質(注9)	5	5	<1.0	<1.0

浜松工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.8 ~ 8.6	6.0 ~ 8.0	7.5	7.3
COD	40	20	5.4	4.4
BOD	25	20	2.4	0.8
SS	40	25	6.0	2.0
ノルマルヘキサン抽出物質	5	5	<1.0	<1.0

藤沢工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.8 ~ 8.6	6.6 ~ 7.8	7.5	7.1
COD	60	30	10.0	6.2
BOD	60	30	12.0	3.8
SS	90	10	4.0	2.2
ノルマルヘキサン抽出物質	5	2	2.0	1.0

中国

上海工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	6 ~ 9	7 ~ 8	8.0	7.7
COD	60	20	19.9	14.6
BOD	15	5	3.5	1.0
SS	70	10	9.0	4.6
ノルマルヘキサン抽出物質	3	1	1.0	0.7

西岑工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	6 ~ 9	7 ~ 8	7.9	7.5
COD	60	20	19.8	11.6
BOD	15	5	2.9	0.9
SS	70	10	9.0	5.8
ノルマルヘキサン抽出物質	3	1	0.9	0.7

タイ

バンブイン工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.5 ~ 9.0	6.5 ~ 8.5	8.0	7.6
COD	120	80	46.5	33.5
BOD	20	18	3.8	3.0
SS	50	20	3.5	2.1
ノルマルヘキサン抽出物質	5	5	2.7	2.0

ロップリ工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.5 ~ 9.0	6.5 ~ 8.5	7.8	7.7
COD	120	80	62.0	52.0
BOD	20	18	4.0	3.1
SS	50	20	10.0	5.9
ノルマルヘキサン抽出物質	5	5	1.6	1.1

ロジャナ工場 (mg / リットル)

項目	工業団地基準	自主基準	最大	平均
pH	5.5 ~ 9.0	6.0 ~ 8.8	6.8	6.6
COD	1,250	1,000	508.0	401.2
BOD	1,000	500	78.0	70.9
SS	200	150	22.0	13.1
ノルマルヘキサン抽出物質	10	10	4.1	2.9

アユタヤ工場 (mg / リットル)

項目	法令基準	自主基準	最大	平均
pH	5.5 ~ 9.0	6.5 ~ 8.5	8.1	7.4
COD	120	80	39.8	21.7
BOD	20	18	3.0	3.0
SS	50	20	1.6	0.6
ノルマルヘキサン抽出物質	5	5	1.0	0.8

◎大気監視状況

藤沢工場(セクショナル型温水ボイラー)

項目	単位	法令基準	自主基準	最大	平均
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.25	0.01	<0.01
窒素酸化物(NOx)	ppm	180	150	47	45
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/h	1.2	1	0.016	0.015

浜松工場(吸収式冷温水発生機)

項目	単位	法令基準	自主基準	最大	平均
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.25	0.01	<0.01
窒素酸化物(NOx)	ppm	180	150	76	69
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/h	1.2	1	0.018	0.014